

ぱる通信

地域精神保健福祉コミュニティー誌

8

No. 231
夏号 2017

特集：『豊かに街で暮らしていくために、共に学びあえる場所』
～英国リカバリーカレッジの紹介&ピアワーカーについて～





特集:『豊かに街で暮らしていくために、共に学びあえる場所 ～英国 リカバリーカレッジの紹介 & ピアワーカーについて～』

6月25日、きらめきプラザにて認定NPO法人地域精神保健福祉機構コンボ主催「アウトリーチとピアサポートを考える～イギリス・アメリカ・ニュージーランドの取り組みについて～」の講演会が開催された。精神保健福祉分野先進国3国の視察報告を岡山の地で共有できたことは、岡山に住む私たちにとって本当にありがたく、希望の持てる会であった。中でも特に興味深く学ぶことができた、講師 佐々木理恵氏（リカバリーカレッジたちかわ）による『英国リカバリーカレッジの紹介&ピアワーカーについて』について報告したい。

講師
.. 佐々木
理恵氏

東京都にある「リカバリーカレッジたちかわ」にてピアスタッフを勤める。笑顔が素敵で上手。とても魅力的な方です。



リカバリーカレッジとは？

国民のメンタルヘルス（精神的な健康）向上をはかる取り組みとして、疾患を持つ方やその支え手が、さまざまな生活のしづらさなどと向き合いながら、地域で豊かに暮らしていくために必要な知識を互いに学びあえる場所。

世界初のカレッジは、二〇〇九年にイギリスのサウスウェストロンドンに作られた。現在では三〇か所を超えるカレッジが創設され、地域ごとに特色を見せており。この学びの取り組みは海を越え、オーストラリアやイタリア、そして日本にも広がってきていている。

豊かに街で暮らしていくために
共に学びあえる場所

イギリスにおける
リカバリーカレッジの背景

イギリスの国家予算に余裕がなく、医療費と福祉の予算を削減していかなければならぬというところから始まり、早期に病気について学んで回復していくような、学びの場を作る取り組みが二〇〇九年から始まつた。デイケア等が閉鎖されていく中、リカバリー・カレッジがどんどん広がってきてている。

リカバリーカレッジの原則

- ・共同制作（Co-production）
- ・主体的に学ぶ
- ・誰でも参加してよい

「全ての精神保健サービスは リカバリー志向になるべきだ」という国の方針

1. 「治療」ではなく「学び」からリカバリーへ
2. 当事者と専門職が力を合わせて運営する（Co-production=協働）
3. 本人の強みを大事にする
4. 先を見据えての学び
5. 地域コミュニティとのつながり
6. 誰でも歓迎

特集:『豊かに街で暮らしていくために、共に学びあえる場所～英国 リカバリーカレッジの紹介～』



Co-production＝協働といって、専門職や当事者が力を合わせて運営を行う。「治療」ではなく、「学ぶ」ことでリカバリーを目指す。主体的に学び、参加するというのが大事。リカバリーを促進するような本を揃えている図書コーナーを常備するという条件もある。誰でも参加してよいということも大きな特徴。デイケアなどは医師の指示が必要になるし、福祉サービスは行政手続きが必要になつてくる。リカバリー・カレッジはそういうことがなく、誰でも参加して良いのである。当事者・家族・友人・近所の人・支援者・・・興味のある方誰でも参加してよい活動だ。

また、地域のコミュニティをとて大事にしていて、リカバリー・カレッジという学びだけで完結しないよう、地

スタッフから治療を勧められる場ではない
どの講座を受けるか、学生が選択することを大事にしている。支援者などから「今のあなたにはこれが必要だからこれを受けた方が良いのでは?」と誘導や指示をされて参加するのではなく、自分で選択して主体的に参加できる。例えば、リカバリーカレッジに来ていて、今日は調子悪そうに見えるなと思った時に、「薬飲んでますか?」とか「今日通院した方が良いんじやないの?」「お休みした方が良いのでは?」ということはない。学びの場なので、治療に関するこの介入は一切しない。
受講する学生にとつてのメリットだけではなく、専門家にも新しい知識を

上にとつてのメリットだと専門家にも新しい知識をもたらす場であり、一方的に教えるのではなく、一緒に体験しながら学ぶことを大事にしている。

対象…十八歳以上。（最高齢八十四歳）一期三か月あたり約三五〇名が登録。講座数は五〇（三百コマ）。午前・午後有り。一年間を限度に卒業。
入院中であっても、リカバリーについて学ぶ場に参加ができる。
地域の大学の先生などにも協力してもいい、講座を運営。
※講座例…自己開示ワークショップ。
自分の病気をいつ誰にどのような形で開示するかという講座。

七、有

【独自の取り組み】

ピアトレーナーが二〇名働いている。
講座・水泳コース・即興演劇・音楽・
絵はがき・鬱のコントロールについて
・自尊心について・幸せの見つけかた・
仕事と健康・など三〇講座
※講座例・演劇ワークショップ 演劇
の中での自分の病気についてお互いに解
説していき、不安解消を目指すもの。

ヨツプまで。

2

専門職や当事者が協働で運営
地域を巻き込み、

域も巻き込み、リカバリ―を伝える取り組みを一緒にやっていく。

スタッフから

ノッティンガムリカバリーカレッジ

- 2011年開校
 - イギリスで2番目に設立
 - 出資はNHS
(※National Health Service
　　= 国の保健サービス)

サセックシリカバリーカレッジ

- 2014年開校
 - 第3セクターも出資して運営
(※NPOや慈善団体など)
 - キャンパスの数:7つ

リカバリーカレッジには無料で配られるポストカードがあり、私にとってのリカバリーはこうであるとメッセージにして、掲示されているそうです。



それぞれの地域で運営の仕方に違いがあり、決まりや講座内容・講座の受け方・卒業の仕方など地域の特色を活かして運営されている。

アンケート調査により、十五%が希望や自信が上昇。三五%がストレス対処法を学んだ。四〇%が情報や知識、技術が向上した。と回答。五六二名の出席。

【得られた効果】

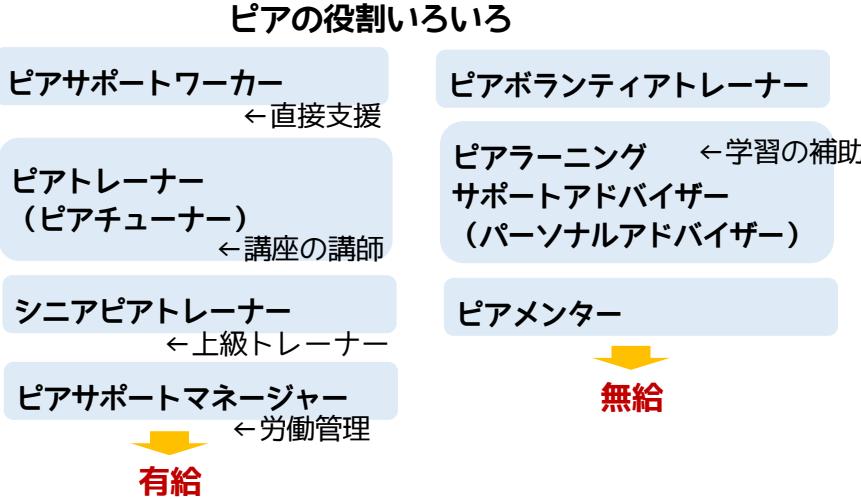
講座…メンタルヘルス以外に身体健康的な講座もある
※講座例…健常な心臓・糖尿病など
開設以来、三〇九四名が登録。合計九五六二名の出席。

CNWL リカバリーカレッジ

- 2012年開校
- イギリスで3番目に設立
- 会場は20か所
- 世界各国から年間70件ほどの視察がある

イギリスでは
たくさん当事者が活躍！

英國 リカバリーカレッジについて



有給

ピアサポートワーカーは、現在イギリスでは何千人といて、ノットディングガムだけで六十名が活動している。ピアサポートワーカーは急性期の病棟にも配属され、患者さんの何かの交渉を助けたり、WRAPや利用者さんと話す、助手業務などをを行っている。

→治療(treatment)としてではなく、生きる技術(life skill)に関する支援

お金が出ない無給の人たちは有給のピアトレーナーになるためのトレーニングも兼ねている。本当はお金を付けたいのだが、予算がなくて付けられな

ピアサポートワーカーのトレーニングは、五日間十五人程度を対象にしている。トレーナーは、ピアトレーナー二~三人、専門職トレーナー一人。トレーニングの内容は、病気の知識や服薬についてではなく、リカバリーカレッジの原則を伝え、人として大切に扱

- (ピアは)時には勇敢にならなければならない→意見を言う時などに
- 一つの職場チームには二人のピアがいることが多い
- ピアグループスーパー・ビジョン(毎月行っている)

い状況である。
ピアの雇用元はNHS=国。NHSはリカバリーカレッジだけを運営しているのではなく、病院やクリニック・福祉もあり、配属された先や役割によって呼び方が変わっている。「ピアサポートワーカーは、病院案内や患者さんのお話を聞く。ピアトレーナーはリカバリーカレッジで講座を受け持つ。」など、それぞれ役割がある。一つの役割だけだと生活できない為、一人が兼務していることもあるが、兼務していても生活できるほどのお給料にはならないとのこと。

ノットディングガムの ピアサポートワーカーについて

わかれど、その態度とは、どうことを学ぶ。
雇用の仕方として、最初は六ヶ月間と期限を区切って、現場に六人を入れてテストを行った。入れてみたら専門職がピアの方はとても良い働きをするのでもっと来て欲しいということで、どんどん雇用を増やしていくことができた。当初は今いるスタッフに上乗せをする形でピアの方を入れることが出来た為、現場の人たちからそんなに反発がなかつたということもあった。現在は予算の問題で現場のスタッフに欠員が出たらそこにピアを入れていってある。看護補助者の枠をピアサポートの枠に増やすということをしていく。



特集:『豊かに街で暮らしていくために、共に学びあえる場所～英国 リカバリーカレッジの紹介～』

適材適所で人を上手に選ぶ。ピアも時には勇敢になることが必要。それ違うよねということを言わなければならぬ場面で、言えるかどうかが問われている。「あなたの意見を聞かせて欲しいんだけど」と言つてもらえるようなピアサポートワーカーになることが大事。勇気をもつて意見を言うともピアには大事なことである。



【ピアサポートワーカーテスト】

テスキンによると、最初に配置されたピアサポートワーカーがとても一生懸命働いた姿がロールモデルとなつて職場の文化を変えていくことに貢献したもののこと。ピアの振る舞いが、現状の専門職の在り方を変えていくこともある。

ピアはユーザーにとってとても意義があるだけではなく、雇用する組織にとってとても意味がある。組織の文化を変え、今までのやり方を変える。組織に意味があるということは、サービスユーザーに還元できるということ。両方にとつてピアは意味がある。

ピアも専門家も一緒に研修を受ける

掲示がされ、応募する形式だ。ボランティアも必ず研修を受ける。ピアだから研修を受けるわけではなく、専門職も一緒に研修を受ける。専門職は治療には専門家だが、リカバリーに関しては教える技術がない。つまり教育者という立場ではないので、「教える」ということの研修を受ける必要がある。

雇用の仕方については、公募の形もあれば、ロンドンではピアサポートマネージャーという方が直接ピアをスカウトするという形もある。語りませんか?と誘い、ピアがほしいという現場と調整して上手くマネジメントをしている。

ピアが抱える課題について



佐々木理恵さんとクローバーで交流したよ！

う。と佐々木氏から言葉をもらいました。お互いにとても良い時間となりました！



『リカバリーカレッジたちかわ』へ行ってきました！



ぱるつーこ広場

投稿・募集
コーナー

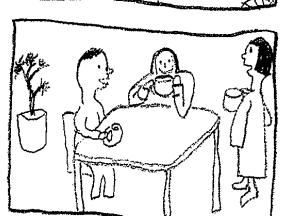
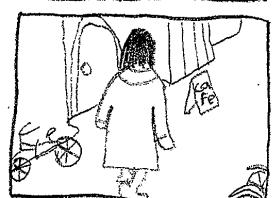
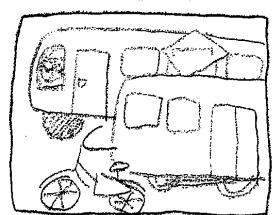
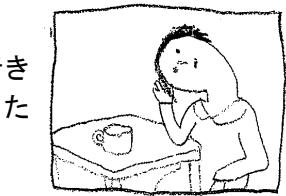
「統失デビュー11周年」vol.14 ふじ一歩

どっか遠くへ行き
たいなあと思った
時

自転車にも電車
にもバスにも乗
れて

徒歩もできて

小旅行気分に
なればるは
ちょうどいい
遠さ



ハニイ 作



☆『DVD鑑賞して』☆

『キッズ・ウォー5のDVDを見ました。凄く、面白かったです…』

サカモトウガより

今日は『バットマンVSスーパーマン ジャスティスの誕生』という映画を観て思ったことを書きたい。すなわちこの映画は、スーパーマンの姿とイエス・キリストの姿を重ね合わせているのだ。この映画でスーパーマンは怪物と戦って命を落とす。だが怪物は倒され人類の危機は去る。これはキリストが自ら犠牲となることで人類を救つたことと重なる。なぜ異星人であるスーパーマンはそこまでして人類を救わなければならなかつたのか。それは彼が人類のことを愛していたからだ。愛ゆえに人類を救つたのだ。

またキリストは自ら犠牲となることで人類の罪をつぶやつたともいわれる。これにより人類の神（すなわち主なる神）の許しを請うたのだ。ではこの映画における人類の罪とは何なのか。スーパーマンはこの映画の前日譚で、人類を助けたが、それによって街も破壊してしまつた。当然犠牲者も出た。このことを恨んだ人間もいた。そのひとりがバットマンだつた。だがスーパーマンは人類のことを愛していた。そうであるならばスーパーマンはやはり人類にとつて正義を行おうとしていたのであり、そのスーパーマンのことを悪くいったのは、人類の罪なのではないだろうか。そしてスーパーマンに対する罪は神への罪でもある。なぜならキリストは神の子だからだ。

ところでキリストは処刑の三日後に復活する。ならば次回作でスーパーマンも復活するかも知れない。

古楽日和
二がくびより

藤井 健喜

「こころの元気+」の表紙モデルになっちゃいました！



森本隆道さん
密着取材＆インタビュー

■実際の撮影時間は？
一三時からメイク、一三時半には撮影開始をして四〇分くらいで撮影が終わりました。その後スタジオに帰って撮った写真を見てどの写真にするかを皆で選びました！そして最後にインタ

■表紙にならうと思つたきっかけは？

「（こ）の元気+」とは？
「（こ）の元気+」は、コンボの賛助会員の方にお届けするメンタルヘルスマガジンです。毎月テーマが変わる特集の部分と、同じコーナーが続く連載の部分でできます。

※コンボとは特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ Community Mental Health& Welfare Bonding Organization で精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会の

森本隆道さんはピアセンタークローバーの一員でピアサポートとして約6年前から活動されています。あの人气雑誌『（こ）の元気+』の表紙モデルになるとのこと、密着取材＆インタビューをさせてもらいました！

しきみをつくりたい。そのために、地域で活動するさまざまな人たちと連携し、科学的に根拠のあるサービスの普及に貢献していく団体です。

■大変だったことは？

日帰りで横浜まで行つて帰つたことです！当日は緊張したのか午前一時半に目が覚め、ずっと起きいて最終の準備をしていました！七時台の新幹線に乗り、横浜へ行き、岡山へ着いたのは二二時過ぎでした。

■何月号の表紙になるの？

「いい笑顔になつた」と言われたことです。皆さんの温かな声かけで和やかになりました！

■交通費は？
一万円は支給されますがその他は実費です。



メイクの様子↑



今月のきらり

病気だからと

自分をあきらめていたら
今の自分はなかった

きむら けんたろう
木村 健太郎さん



ジョブサポートセンターあすなろの利用を経て、高齢者介護の仕事に就かれ、ご自分のペースで生活されている木村さん。そんな彼のことまでのことや、これからへの思いを語ってもらいました。

◆転勤族だった幼いころ

生まれは広島県福山市、育ちは和歌山や大阪など転勤族だった父の仕事柄、いろんな地方で過ごしていました。小学校の時にサッカーに出会い、高校時代には、当時フットサル社会人リーグに入つて、年上の人たちとゲームをしていました。それ以降は今でもサッカーは自分の楽しみのひとつでもあります。

◆病気をするも仲間に支えられた学生時代

中高大学時代は大阪で過ごしています。仲間との出会いや好きなサッカーと、順風満帆に過ごせていたのですが、二〇歳の頃、潰瘍性大腸炎と診断されます。これは自分自身ひどく落ち込んだ出来事でした。食生活も変えなければいけない。生活も切り替えた。再発したらがんになるリスクも高い。そうなつたら生きるか死ぬかも考える日々だった。鬱っぽさが続く日々でした。しかし、その当時の大学の友人の支えもあり、前を向くことができました。

◆就職活動から引き「もり」に、精神科を受診

進路を考える大学三年に差し掛かったころ、就職活動で面接を受けた企業で言われた言葉に自分自身、身動きが取れなくなりました。それ以降、大学へは行けず引き「もり」の生活が始まります。何に対しても無気力。身なりや食事にも気を配ることのできない苦しい時期を過ごしました。その後、両親の勧めもあり精神科に受診、二ヶ月の入院を経験しました。

この時、今でも私の診断名である「統合失調症」と言されました。大学はやもなく中退。気がけば二十七歳になっていました。

ただ、診断を下された」とそれ 자체は潰瘍性大腸炎の診断に比べるとそれほど大きなショックではありませんでした。一度人生の生死について深く考えるこのできた過去の経験があつたからだと思います。

◆なかなか思うように過「せ」ない時期から

父の退職を機に大阪から父の実家のある岡山の吉備中央町へ引っ越しました。症状は継続し体力も続かなかつたため、なかなか思うように過ごせない時期を送りました。しかし、自問自答を繰り返していく中である考えに行き当たりました。「悪い」とを考えても、「いい」とを考えても時間は平等に流れいくんだ」と思い至った時、それまでの自分自身を抑えていた何かが外れて気持ちが軽くなつていきました。そこからは、偶然のようなく、人との縁を感じる出会いの中で事が進んでいきました。空き地でサッカーボールを蹴っていたら近所の人に小学校のサッカーボールを勧められ、そのまま学童保育の手伝いを。慣れてきた頃に「コンビニの店員も兼務しました。どちらも症状については伏せて働いていました。そのお給料を一人暮らしの準備資金とし、晴れて一人暮らしをスタートさせます。と同時に、自分自身の今後の働き方を再検討するためにハローワークで紹介された「介護職員基礎研修」を受講するところになりました。

◆介護の仕事と出合つ

「機械 やものより、人と接する」とが好き

昔から人と接することは好きでした。そして、なぜかお年寄りからは声をかけられることが多い、（顔が昭和顔だからか…）人とお話をすることも好きだったのです。これは仕事に活かせるかもしれない、と感じていました。学童での経験も自分を後押ししてくれました。半年間の研修の中で、介護に必要な基礎知識を身に付けられたことは大きな前進でした。その当時の先生の紹介で前の職場に出会います。一般就労で医療法人の経営する小規模多機能の「デイサービス」で介護職勤務をスタートしました。当初は自分自身の症状は伝えず勤務をしていました。女性の多い職場でしたがアットホームで自分にはとても合っていました。しかし、時折出てくる症状には悩む日々でした。介護職では夜勤なども一般では当然の職務です。疲労が取れない中での勤務が続きます。症状のことを上司には伝え、可能な範囲の配慮を頂きながら何とかしのいでいましたが、昨年秋に主治医との相談の末、退職を選びました。

◆自分らしく働きたい、働き続けたい

前職を辞めるとき、支えとなつたのは長く自分を支えてくれていた奥さんと、現在一歳と四ヶ月になる娘の存在でした。自分自身のしんどさを一番身近で見守つて支えてくれていたのが家族でした。「これまでは一般就労でフルタイムを希望していましたが、「これからは今の自分に無理なできる時間や業務から少し

ずっと進めていきたい」という思いがあり、以前よりかかつて進めていた病院のソーシャルワーカーさんの勧めもあり、

今年の一月にあすなる福祉会の就労移行支援サービスジョブサポートセンターを訪ねました。今まで使つたこともないサービスでどんなことを一緒にしてくれるのかも全くわからない中での利用でした。

◆再び介護の現場へ

しかし、「これも人とのつながりなのか、登録して間もなくの合同面接会で受けた現在の会社で勤める」とになります。自分自身の症状を無理なく伝えながらの応募でした。短期入所の生活介護事業の所属で勤務が始まりました。慣れるまでは一日二時間の勤務から自分のペースで勤務時間を延長していくようになります。自己のペースで勤務時間の調整をしてもらいました。しんごい時はすぐに職場にも配慮してもらいました。突然の休憩時間でも相談するとも出来ています。前職の経験から、突如とあらわれる自分自身の不調に合わせての休憩の取り方も随時一緒に考えています。

そして、「この春には家庭環境の変化もありました。奥さんの職場への復帰、娘の保育園。父として、夫としての役割も感じながら、自分自身の働き方と向き合う日々です。

◆出会った人、出来事のおかげで今の自分がいる

妻も娘もみんな頑張っている。日々実感しています。それぞれが出来る」とを精一杯やつているのだと感じています。「この夏には奥さんと娘と三人で夏の花火を見る」と出来ました。車を走らせると、吉備中央町

には両親がいてくれます。職場の人も、かかりつけの主治医もソーシャルワーカーさんも私が働くことを見

守ってくれています。以前勤めていた職場へも、今も時々顔をだしては近況を伝えています。自分には感謝を伝えたい人がたくさんいて、これまで出会つた人々出来事のおかげで今があるのだと感じる」とが出来ています。

◆過去は振り返らない

病気だからと自分をあきらめいたら、今の自分はなかつたと思います。結婚も育児も、就職も。今の自分の働くモチベーションは家族。娘には元気でいてほしい。その為に自分が何ができるだろうかと考えたとき、自分が自分らしく働き続ける」とだと感じています。今できる」とを一つ一つ、自分自身の心にいつもある「ほちほちで」と「人とのつながり」を大切にしながら「これからも過」していくたらと思っています。



介護の仕事の様子(ベッドメイキング)↑

平成29年度 あすなろ家族の会総会を開催しました★



六月一七日（土）に平成二九年度「あすなろ家族の会」総会が開催され、「あすなろ家族の会」会員二一名のひ家族に出席いたしました。無事会を終えることができました。出席いたいたひ家族の皆様には、お忙しい中、足を運んで頂きありがとうございました。総会では、平成二八年度事業報告・会計報告、会則の改定、平成二九年度役員選出・事業計画・予算案の承認を頂きました。また家族同士の貴重な交流の機会も持つことができました。内容としては「病院の選び方どうしてる?」「同居している家族との付き合い方で悩んでいる…」「親の息抜き方法どうしてる?」等個々で悩まれておられる話を語り合ない、アドバイスをし合う場となりました。

また八月五日（土）桃太郎祭りに合わせて商店街内にてカレーとタピオカミルクティーを販売しました！前日から準備をして当日は六〇人前のカレーを準備しました！「美味しい」と地域の方に言って頂き私たちも笑顔になりました！お手伝いして下さった方ありがとうございました。

次回家族交流会は今月一九日です！ご参加お待ちしております。

六月一七日（土）に平成二九年度「あすなろ家族の会」総会が開催され、「あすなろ家族の会」会員二一名のひ家族に出席いたしました。無事会を終えることができました。出席いたいたひ家族の皆様には、お忙しい中、足を運んで頂きありがとうございました。総会では、平成二八年度事業報告・会計報告、会則の改定、平成二九年度役員選出・事業計画・予算案の承認を頂きました。また家族同士の貴重な交流の機会も持つことができました。内容としては「病院の選び方どうして

る?」「同居している家族との付き合い方で悩んでいる…」「親の息抜き方法どうしてる?」等個々で悩まれておられる話を語り合ない、アドバイスをし合う場となりました。

七月（参加者五人）
①最初に話しかける時に、どういう事を話しかけているか？コミュニケーション力をアップさせるには？
②人脈を広げる為には？
③誰かを好きになる瞬間は？

六月（参加者八人）
①時間が空いた時にする事が無くてイライラするのを解消したい
②異性と上手に会話するコツ、他人と上手く付き合えない・会話が出来ない・対人関係が怖い、対人関係が苦手ですが皆さんはどうですか？

五月（参加者七人）
①みんな、どれ位、歩いているのかな？
②みんな、どんなTVゲームをした事がある？
③やりたく無い事や嫌な事を頼まれたりしたらどうしますか？（キチンと言つのか、ふんわりと言つのか、みんなどうしていますか？）

四月（参加者五人）
①これから何がしたいか？皆さんの中長期的な夢は何ですか？
②発達障害について（人の気持ちが解り難い事）
③最近ハマっている事、趣味は何ですか？

上半期「癒し場」報告♪

たまりばイベントいろいろ！

五月から七月は、たまりばで出でました「こんなことをしたい」をどんどん実現していきました！

第一弾・たまりばギョーザ会

五月、六月に一回ずつ開催したギョーザ会。参加者

は合計三十名！チラシ作り、ギョーザの付け合せも

メンバーさんと一緒に考え

ました。当日もみんなでテ

キパキとギョーザを作り、

おいしいギョーザをみんな

で頂くことが出来ました♪

第二弾・たまりば合コン！

「出会いが欲しい！」と

いう声から企画されたたま

りば合コン！当日合計七名

の男女が参加されました！

内容について、主催のメン

バーさんとスタッフとで、

練りに練った甲斐もあり、

初めは、それぞれ緊張した

面持ちでしたが、後半は笑

顔で盛り上がりました☆

今後も様々なイベントを行なっていければいいな

と思います！

多いのは対人関係の悩みですが、趣味や空いた時間の過ごし方、夢など今後の事を話合つた事も有りました。これからも参加する事で、仮に答えが出なかつたり見通しが立たなかつたとしても、参加者の方の孤独や不安が和らぎ、「癒し場」であるように運営していきたいと思うので、皆さんのお参加を心から御待ちしています。ちなみに参加者の声で一番多いのは「思っていた以上に、意外に自分に似た（似たような経験がある）人がいる事を見つけてきた」です。

多くの方、夢など今後の事を話合つた事も有りました。これからも参加する事で、仮に答えが出なかつたり見通しが立たなかつたとしても、参加者の方の孤独や不安が和らぎ、「癒し場」であるように運営していきたいと思うので、皆さんのお参加を心から御待ちしています。ちなみに参加者の声で一番多いのは「思っていた以上に、意外に自分に似た（似たような経験がある）人がいる事を見つけてきた」です。



キヤンスマ



あすなろの

夏

がキタ

!



あすなろの夏イベントまだ
まだ続いている。七月二二日の土
曜日は表町商店街の夏のイベン
ト土曜夜市に参加しました。日
頃からお世話になっている商店
街の皆様や、地域の方々との交
流のきっかけにもつながる夏の
イベントです。商店街で出店し
てこられるお店のお手伝いに参加さ
せて頂きました。子供たちが喜
びそうななくじ引きの景品をメン
バーさんみんなで買い揃えた
り、六〇〇個近くの水風船を前
日にみんなで作成したりと準備
から大忙し!みんなで協力し準
備をすることができました。



当日は、みんなで接客を行
いました。地域の子供たちからは
沢山の元気をもらいました。商
店街のお客様や皆様とも沢山触
れ合いつことが出来機会を頂け
ました。おむかなしの心を学
び、地域における事業所として地
域の皆様と関わることのできた
貴重な夏の思い出になりました。



土曜夜市

七月一五日あすなろ福祉会では、「イキヤンスマ」として
王子が岳、渋川海水浴場でBBQを行いました。今年の
テーマは「食つて!泳いで!楽しもう!海へ出発201
7!」ということで実行委員会を募り、事前準備、計画
から行い、当日参加者は二〇〇名。
朝早くからみんなで集合しての下準備とおにぎりの
作りから一日は始まりました。

浜辺でトントを立てて日陰を作り、海水浴、BBQ、
スイカ割り、水族館めぐらは非常に盛り上がり、参加し
た皆さんでわいわいBBQ焼けをして夏を満喫しました。
実行委員会始め、みんなで協力し作り上げたイベン
ト。参加した皆さん回り、交友を深める良い
きっかけになつたのではないか!とい
うか。

あすなろの夏イベントまだ
まだ続いている。七月二二日の土
曜日は表町商店街の夏のイベン
ト土曜夜市に参加しました。日
頃からお世話になっている商店
街の皆様や、地域の方々との交
流のきっかけにもつながる夏の
イベントです。商店街で出店し
てこられるお店のお手伝いに参加さ
せて頂きました。子供たちが喜
びそうななくじ引きの景品をメン
バーさんみんなで買い揃えた
り、六〇〇個近くの水風船を前
日にみんなで作成したりと準備
から大忙し!みんなで協力し準
備をすることができました。

当日は、みんなで接客を行

いました。地域の子供たちからは
沢山の元気をもらいました。商
店街のお客様や皆様とも沢山触
れ合いつことが出来機会を頂け
ました。おむかなしの心を学
び、地域における事業所として地
域の皆様と関わることのできた
貴重な夏の思い出になりました。

今年も盛り上がりました！

うらじやに出演

八月五日・六日はおかやま桃太郎まつりが行われました。今年もあすなろ福祉会から五名が、表町商店街のうらじや連である『表町おきやく連』の一員としてうらじやに出演しました。五日は岡山市内の演舞会場を四か所、六日は六か所を踊り歩きました！

当初は台風も心配されました。が台風も来ず、熱中症になつた踊り子もおらず、最後までみんな無事に踊り切りました。

祭り最終日には踊り子と観客

が一緒にになって踊る「総踊り」が行われのですが、今年はあすなろのメンバーも多く参加されました。踊り子達と一緒に味わえる素晴らしい時間となりました。



映画製作の裏方、ボランティア大募集！

調子はえーんじゃフェスティバルに向けて



た！

2年が経過し、ついに次回作の制作のため動き始めました。六月三〇日、第一回映画製作実行委員会を開催しました。参加者は当事者、学生、病院職員など一三名が集まりました。まずは映画作成をするにあたり映画を誰のためにつくるのかという対象者と今回の映画のテーマを決めました。映画対象者は前作と同じく幅広く見てもらいたく当事者、家族、関係者、一般市民。そして今回の映画のテーマとして『病気や障害があつても「希望」「可能性」を感じている事を伝えたい』

『入院の経験があつても元気になれるなどを伝えたい』『地域の人々に「あなたと変わらない」ことを伝えたい』

『小さな日常のなかで元気になつたきっかけ』を伝えたい』『支えてくれたあの人にありがとう』と伝えたい』。これらのテーマをもとに映画出演者の募集を行いました。



そして八月一六日第二回実行委員会を開催し、映画に出演したいと応募して下さった四名の方がオーディションをするための準備や今度の予定を話し合いました。これから秋にかけて撮影を行い冬春には完成を目指す予定です。もしも映画撮影や編集など興味がある方がおられましたら裏方大募集していますのでご一報ください。次回実行委員は九月七日一三時半です。